

若手教員支援サイト

小学校理科ワンポイント

令和2年10月8日

第1回

理科で大切にしたいこと



各学年の理科でつけたい問題解決の力

6年

より妥当な考えを
つくりだす力

5年

予想や仮説を基に、
解決の方法を発想する力

4年

既習の内容や生活経験を基に、
根拠のある予想や仮説を発想する力

3年

差異点や共通点を基に、
問題を見いだす力

各学年の理科でつきたい問題解決の力

6年

より妥当な考えを
つくりだす力

5年

予想や仮説を基に、

理科でつきたい問題解決の力は、

3年生の「差異点や共通点を基に、問題を見出す力」
からスタートすることがわかります。

ここが、**小中高12年間の理科の出発点**となります。

3年

**差異点や共通点を基に、
問題を見いだす力**

教科書には、いろいろな生き物の写真が並び、観察してみることや、調べてみることなどが掲載されていますよね。

このようにまず、身の回りの自然を観察したり調べたりする活動を通して、子どもたちは、
差異点や共通点を基に、問題を見出す力を養っていきます。

1つ、写真を紹介しましょう。

この生き物を見たことはありますか？
あるはずだと思います。

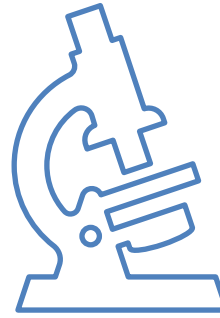


この生き物は、きっと校内で見つかるはずですよ。
子供たちはこの生き物を見て、何を感じるでしょう。
写真では伝わりにくいかもしれませんが、校庭でこの風景を実際に見たとき、私は、この姿がかっこよく感じて、何だかすごくわくわくしました。

理科では、子供たちのこのような、
「わくわくする気持ち」や「なぜ?」と思う気持ちを大切にしてもらいたい。

そして、そのためにまず、先生方にぜひ身近な生き物を観察して「わくわく」「なぜ」を感じてもらえればと思います。

今週のワンポイント



- 「わくわく」や「なぜ？」を大切に。
- はじめに先生方自身が身近なものを観察して「わくわく」「なぜ？」を感じましょう。先生方が感じていれば、それは子どもたちにも伝わります。

